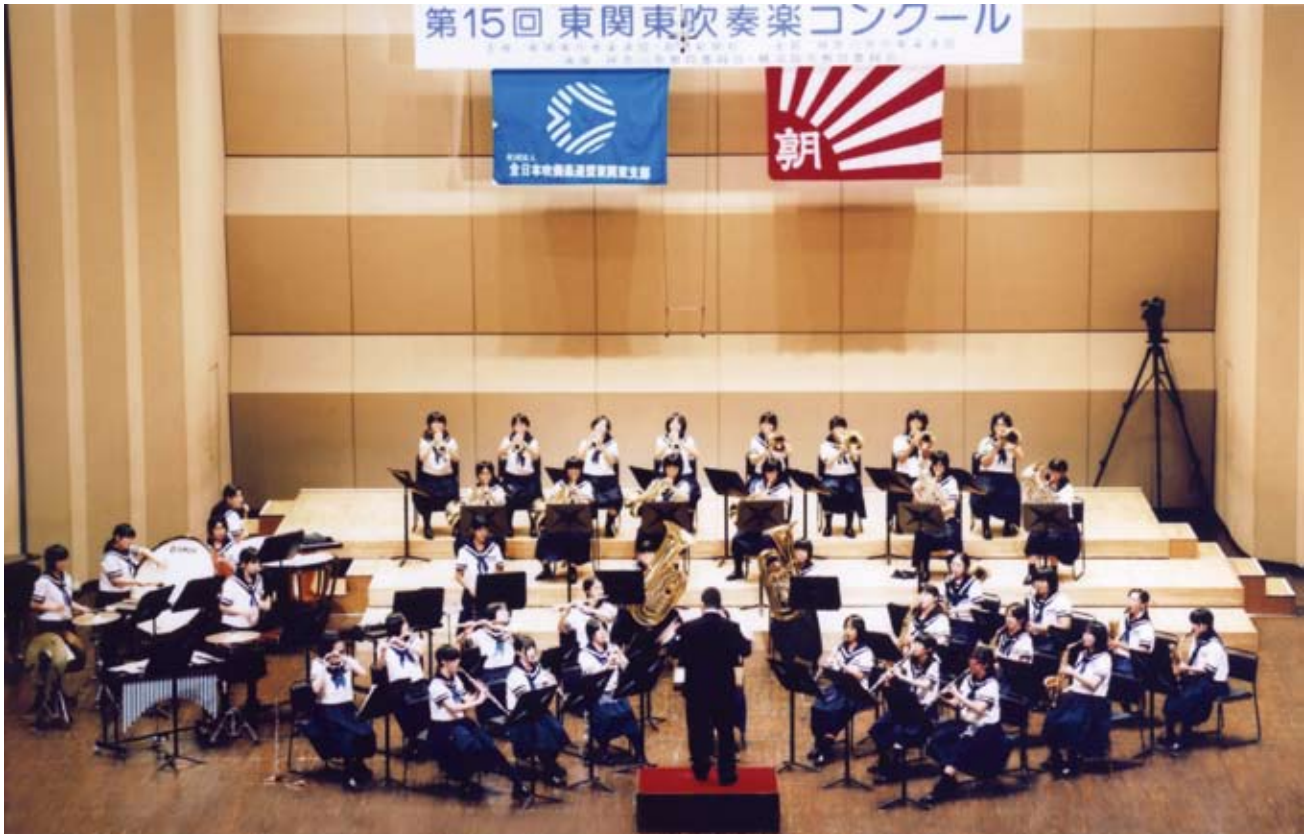


吹連いばらき

発行所 茨城県水戸市愛宕町4-1
 茨城県水戸生涯学習センター内
 茨城県吹奏楽連盟
 電話 029-228-3071
<http://www.iba-sui.jp/>
 発行人 代表 黒澤 啓 光
 印刷所 山三印刷株式会社



▲第15回 東関東吹奏楽コンクール 中学校Aの部 常陸太田市立峰山中学校

—音楽をすること—

副理事長 本 図 智 夫

音楽をすること……それは一言で言えば生きることだと思えます。しかし生き方にもいろいろあります。真剣に生きる生き方もあれば、なんとなく生きる生き方もあります。どのような生き方をするかで、物事への取り組み方や受け止め方、問題を解決する能力なども大きく異なってしまう

にしていこうとすれば、大変な努力をしなければなりません。そこで自己は磨かれていきます。歴史に名を残す作曲家の作品を演奏することでその本質に触れ、その音の世界に身を置くことで、その作曲家の感性に共感し感動します。そして自分自身の感性でそれを吸収、蓄積して自分自身の心を豊かにするのです。

それを音楽に置き換えると、自らやる気をもって取り組むのと、やらされてやるのとでは、生き方と全く同じことが言えると思います。とかく私達は、楽譜に書いてある音符を、美しい音で正確に並べることができると曲が完成したかのように思いがちです。しかしよく考えてみればそれは、曲を表現する手段が整ったに過ぎないのです。

吹奏楽の世界では、個々が様々な問題を解決して輝き、皆が同じ方向を向いて協力しあつて一つのものを創る努力をしなければなりません。努力が実れば一人では不可能なことでも多人数なら可能になるというチームワークの素晴らしさを味わうことができます。

では、表現するものとはなんでしょう？ それは自分自身なのです。曲を表現する手段をすこしでも質の高いもの

このように音楽をすること
 で自分自身を成長させること
 が最も大切なことであり、吹
 奏楽連盟が掲げる永遠の課題
 の一つであると常々私は考えて
 います。

50年の歴史を踏まえて



茨城県吹奏楽連盟理事長

黒澤 啓光

茨城県吹奏楽連盟が昭和36年（1961年）に結成されたから、50年という時が過ぎました。

発足当時の加盟団体数は、中学校19、大学1、職場1、一般1、計22団体という記録があります。それが現在、小学校45、中学校24、高校10、大学5、職場4、一般58、計46団体（平成22年3月31日現在）になっていきます。この加盟団体数は、都道府県別にみると10位以内に入る数です。し、中学校・高等学校のほとんどが加盟していることをみると、今日に至る50年という期間に、すばらしく大きな連盟になったのだなと改めて感じてしまいます。

連盟発足当時、私は水戸二中の1年生でした。顧問の島田弘先生（初代事務局長）が茨城県の吹奏楽界に大きな力を持っていて、何か新しいことをやろうとしていることは生徒として感じていました。

れど、連盟の何たるかなど知る由もありませんでした。

「新しい何かが始まったのだな」ということを実感したのは、2年生になっての11月に行われた、県吹連設立一周記念音楽祭に参加したときでした。旧県庁前の広場での式典と合同演奏、それに続く水戸市内パレード。沿道に多くの人が集まり、大きな拍手を贈ってくれていました。その拍手を受けながら、「吹奏楽ってこんなにくさんの人に喜んでもらえるのだな。吹奏楽連盟ってすごいことができるんだな。」と胸を躍らせて楽器を吹いていたのです。そして、その時の思いが、私の中にはずっと続いているのです。

その後、吹奏楽活動を続ける中で、県連盟創立にかかわった多くの諸先輩方と親しくさせていただき、吹奏楽指導のみならず、連盟の仕事や活動についてもいろいろとご

指導やご教示を受けることができました。

今、理事長職に就いて改めて思うことは、現在の県連盟があるのは、歴代の理事長はじめ役員の方々や事務局の方々が、時代や社会情勢、教育環境の変化に応じて連盟の体制を整え、行事や組織運営が円滑にいくようにと労苦を惜しまず取り組んできたおかげだということです。

それだけに、今後とも連盟のあり方、果たすべき役割等について論議していく中で、連盟創立にかわった方々の吹奏楽や連盟に対する思いと情熱は受け継いでいかななくてはならないと思うのです。

吹奏楽連盟があるのは当然であり、連盟は何をしてくれるのかと考えるより、吹奏楽連盟をこうしていこう、こんな連盟にしていこう、連盟でこんなことをやっていこうというようなことを加盟団体の皆さんで出し合っていただけだからと思うのです。

私が中学生で拘いた吹奏楽や連盟に対する思いを、これからの吹奏楽活動や県連盟を支える若い世代の指導者にも持つてもらいにはどうしたらよいか、大きな課題が残ります。

専門部会の活動

コンクール事業部

吉成 隆一

日頃よりコンクール運営につきましては、会員の皆様方のご指導ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

21年度も、全日本小学校バンドフェスティバルに水海道小、石川小が、東日本学校吹奏楽大会に、笠原小、友部二中、境一中が出場権を得て、素晴らしい成果を挙げられました。その努力に敬意を表する次第です。

さて、21年度の県大会より、C部門を廃止いたしました。結果的には混乱も無くコンクールを終了することができましたが、B部門の競争率の上昇等、課題があることは承知しています。もう一つの課題は、「A部門の活性化」という課題です。その対策の一環として、中学校A部門の出場枠を各地区一枠増加させました。期待したほどの効果は無く、終了時間が遅くなるという問題点のみを残しました。

今年度はこの問題を含めて「A部門の活性化」について検討したいと思えます。また、前半・後半二部制の部門の団体前売り入場券購入について柔軟な対応を検討いたします。

会場につきましては、今年度はひたひたなか市文化会館での開催となりますが、平成23年度は県民文化センターで開催しようと考えています。皆様もご存じのとおり、県民文化センターは耐震補強の工事のため、打楽器の移動に支障が出る恐れがございましたが、21年度の会場での運営や、県民文化センターの職員の皆様のご努力によりまして、改善が進みましたので、様々な条件を考え、会場を戻したいと思えます。

最後に、今後大きな課題になると思われる、少子化に伴うコンクールの在り方です。「少子化」は今後、一部の地域を除き、加速していくと思われまます。どうぞ、会員の皆様のご意見をお寄せいただきたくお願い申し上げます。

アンサンブルコンテスト事業部

高野 光章

日頃より本事業部に対し、皆様方のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。21年度の大会開催にあたりましては、県東地区、大学職場一般部会の多大なご協力をいただきありがとうございます。また21年度も、一般の部の東関東大会推薦グループによる特別演奏が企画され、素晴らしい演奏が会場の中学生を魅了しました。このような企画は、これからの時代を担う若い世代に、世代を越えた吹奏楽活動の推進や生涯学習の観点からも、より一層充実させていきたいと考えております。さて、本事業部の長年の懸案事項であった財政面の健全化の一方策として、使用料減免会場による県大会開催が、各方面のご支援ご協力により、平成23年度大会より実現することになりました。このことにより、これまでの地区主管開催は平成22年度で終了し、大会会場は固定化されますが、財政面、運営面の安定化に向けた大きな一歩となります。これからも皆様方のご意見をいただきましたながら、アンサン

ブルコンテスト事業の安定化に努めてまいります。

今後とも、本事業部に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

マーチング事業部

マーチング部会

有國 浄光

21年度マーチング活動は、4月の総会、5月の講習会、8月のマーチングフェスティバル、10月の東関東マーチングコンテスト・小学校バンドフェスティバル主管と、滞りなく終了することができました。茨城県マーチング協会はじめ、ご協力いただきました関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。

さて、レベリックには全国トップを誇る茨城県のマーチングですが、普及という点では他県に遅れをとっていると言わざるを得ません。現在の不況と少子高齢化社会の進行の中で、ゼロからマーチングバンド活動を始めるのはかなり困難であることは明白です。そうなると、現在活動している吹奏楽部が、楽器を持って外に出て歩き出すことが、裾野を広げる第一歩であります。マーチングは、楽器演奏の基

本姿勢、無理なく鳴らす奏法の習得はもちろん、個人の責任が明確な究極の集団芸術です。今の子どもたちに望まれている周囲とのコミュニケーション力の醸成にも効果があります。指導は大変かもしれないませんが、高い教育効果をもたらすことは間違いありません。



Let's Try March! 先生方、楽器を持って子どもたちと歩き始めませんか！マーチング部会、マーチング事業部が全力でサポートします。どうぞよろしくお願いたします。



審査部

和田 秀彦

21年度は審査員の交渉について議論を深めました。これまでは、2月の合同理事会で、理事全員による審査員の評価をした後に招聘希望のアンケータをとり、コンクール及びアンサンブルコンテストの審査員の交渉を開始しました。しかし、この時期の交渉開始では、せっかく全員で評価しても、評価の高い方を招聘することが困難になり、評価の意味が薄れてしまいます。(他県は一年前から交渉を開始している。)

そこで、22年度からは、大会終了後の審査の検討と同時に、翌年の審査員招聘についての検討も行い、すぐに交渉を開始することとしました。そして、4月の参加要項で審査員を公表することとなりました。また、より広い視点から検討ができるように、審査部のメンバーも増員することとしました。



大学・職場・一般部会

永瀬 淳

大荒吹は、平成20年度は国民文化祭のため休止したことにより、2年ぶりの実施となりましたが、参加団体数は過去最大の26団体となりました。今年度は、茨城県吹奏楽連盟50周年記念演奏会のため再び実施を見送りますが、記念演奏会を披露する予定です。

一昨年度よりコンクールの大学職場一般の部の日において、大会に出場した生徒には入場料1500円をワンコイン(500円)で入場できるようにしています。平成21年度は、地区大会において前売りをしたりチラシを配布した



地区の活動

県東地区

事務局長

高橋 哲也

結果、予想以上に各地区の生徒たちに来場いただきました。アンサンブルコンテストでは、中学部門において、一般部門の東関東推薦団体の2団体の演奏を聴いていただきました。その演奏する姿を見て

いる生徒たちの目は真剣そのものでした。これらの活動を今後も継続し、各地区の一般団体がこれまで以上に身近な存在になれるようにしたいと思います。

21年度から指導者講習会が各地区の事業となりましたが、県東地区では以前から、初心者講習会と同日同会場場で指導者講習会を実施していました。

21年度も、東京ミュージック&メディアアーツ尚美講師の高梨裕久先生をお迎えして指導者講習会を実施しました。県東地区は若い先生や経験の少ない先生も多いのですが、こういった機会を生かそうと初心者講習会に生徒が参加している学校の指導者は、ほぼ全員が指導者講習を受講しました。これも初心者・指導者講習の同時開催のメリットだと思えます。コンクールでは21年度から

県大会でC部門が行われないことを受けて、地区大会のC部門を「人数自由、吹奏楽を基本とした編成(電子楽器可)、パフォーマンスを入れてもよい」というレギュレーションで実施しました。(ただし参加団体はありませんでした)



今後も、加盟団体の声を聞

県南地区

事務局長

益子 雅文

きながら、よりよい県東地区の運営に努力していきたいと思っております。

平成21年度は、吹奏楽講習会・指導者講習会が新型インフルエンザの影響で中止になったほか、各種大会にも影響が広がりましたが、加盟団体の皆様のご協力で無事運営することができました。



さて、県南地区では、22年度も振興事業として以下の三つを位置づけています。

吹奏楽講習会は、外部からも講師を招いて個々のニーズに応える細やかな指導を目指していきます。

県西地区

事務局長

山田 賢哉

県南地区高等学校吹奏楽部合同バンドは、演奏会やポラントイア演奏など多岐にわたる活動を行い、少人数バンドの活躍の場にしていきます。加盟団体による合同演奏会「Music Festival 吹奏楽の文化祭」は、行事の少ない冬のイベントとして継続していきます。加盟団体との連絡をさらに密にし、地域に根付いた、開かれた連盟を目指して参ります。

21年度は、より指導者の研修ができるよう、大きく二つの講習会を設けました。

一つは、初心者講習会当日、引率の先生方を対象に、情報交換会や基礎合奏講習会を行いました。内容は部活動の実践発表をもとに、より良い部活動経営について意見を交わし、日頃の悩みを分かち合いました。また、別日程の会場では、モデルバンドを用い、基礎合奏の進め方を、指導歴の浅い先生からベテランの先生まで、アイディアを出し合うことで、その実践を学ぶことができました。

もう一つは、21年度から地区に任された指導者講習会で、優秀団体視察として、埼玉栄高等学校へ伺いました。朝のミーティングから音出し、合奏まで普段の練習をありのまま見せていただいたことは、参加者にとってこの上ない研修の機会となりました。

22年度も、地区の皆様のニーズに即した講習会を考えたいと思います。最後になりますが、昨年度も地区の皆様のご協力で大変充実した活動ができた一年となりました。今後もご協力よろしくお願いたします。



県北地区

事務局長

熊坂 義則

県北地区では、平成21年度から地区長と事務局長が代わりました。不慣れなこともありましたが、会員の皆様方のご協力により無事一年が過ぎました。ありがとうございます。



さて、21年度のアンサンブルコンテストでは、新型インフルエンザの影響により、7グループ中24グループが欠場となつてしまいました。運営ができない状態に陥るところでしたが、地区の方々のご協力で何とか運営することができました。心より感謝いたしております。コンクールでは、C部門が地区大会のみの開催、高校B部門がブロックから地区予選へと大きく変わ

りました。中学校A部門へは、20年度の6団体から8団体へと増加しました。中央地区と共催した指導者講習会は、5月23日に多賀市民プラザで行いました。講師に作曲家の八木澤教司氏をお招きし、基礎合奏法から合奏での指導のポイントまで、作曲家の観点から丁寧にご指導いただきました。

平成22年度も、初心者講習会や指導者講習会、普及推進事業を展開してまいります。それらの事業を通して、県北地区の吹奏楽の充実・発展を期していきたいと思えます。指導者の交流の場の設定や、小学生から大人までが、一緒に楽しんでできる生涯学習としての環境づくりにも模索していきたいと思えます。

中央地区

事務局長

松崎 佳介

平成21年度は新型インフルエンザの猛威にさらされ、振り回された年でした。その中にあって会員の皆様方や、関係諸団体の皆様のおかげをもちまして、4月の総会、5月の指導者講習会、6月の初心者講習会、7月のコンクール、11月のアンサンブルコンテスト等の事業が、大きな事故もなく無事終了できました。この場をお借りして



報告させていただきます。

反省・課題としては、県はもとより、東関東規模での懸案となつている、コンクールA部門参加団体増加への方策についてです。21年度中央地区A部門参加団体数は13と前年度よりの増加はありませんでした。また、その議論の途上で見えてきたコンクール部門の在り方についても、地区としての意見・方策を今後とも議論していきたいと考えております。

また、アンサンブルコンテストの参加グループ数が2日間で142と、飽和状態にありますので、2日半での開催を検討します。22年度も、以上のような課題を解決できるよう努力していく所存ですので、会員の皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

財務状況報告

理事 税理士 篠原 勉

平成18年に公益法人制度改革関連3法が成立し、平成20年12月から施行されている。

この趣旨は簡単に言えば、今までの公益法人が、営利行為をしていても税制上の優遇を受けたり、公益性の判断基準が不明確であったため、その是正をするためである。そして行政や民間ではできないサービスを提供する民間非営利部門の発展を促進するためのものである。

この法律施行により前者の公益認定は厳しくなり、後者は一般社団法人の制度ができたため法人化が登記だけで済むようになった。

法人にするメリットは、法律行為等が法人の名前でできることである。例えば、銀行口座の開設、不動産の登記、賃貸契約等である。

吹連も全日本は社団であるが、東関東・茨城県等は任意団体である。当吹連もそろそろ法人化

を考ふる時期ではないか？

普及推進事業

普及推進委員長 牧野 英一

普及推進事業も3年目を迎えます。内容も年々充実しつつあります。この事業を始める以前は、顧問教師の転勤や指導者の経験不足という悩みをもつ学校から、茨吹連事務局へ「何とかならないか」という声や相談がありました。

そこでスタートさせたのが、希望する学校へ指導者を派遣し、子どもたちに基礎的な練習方法を指導したり、顧問と共に運営の仕方を考える事業でした。

普及推進委員会ではこれからも底辺の拡大を図るため、小中学校を中心に指導者の派遣事業を積極的に推進し、吹奏楽活動活性化の一助となるよう、情報の共有化を図りながら、各地区・部会とも連携を取り合つて取り組んでいきたいと考えています。

東関東吹奏楽連盟より補助事業のご案内

I マーチングに取り組みたい団体への補助
県大会出場を条件に、楽器の貸与や講師派遣の援助をします。
援助を希望される団体は、マーチング部会事務局にご一報下さい。

II 特別指導者研修会への補助
第41回日本吹奏楽指導者クリニック(於:アクティビティ浜松5/14~16)に参加希望される方(初参加者のみ)へ研修費(参加費:25,000円)を補助します。申込書は東関東吹連ホームページよりダウンロードしてください。

特別寄稿

音を奏でる素晴らしさ



前朝日新聞水戸総局長

依光 隆明

音楽を聴く機会は少な
い。テレビのCMで流れるし、
レストランや喫茶、車のラジ
オからも聞こえてくる。

大規模店舗でテーマソング
の洪水を浴びせられたことも
ある。購買意欲を高めようと
しているのだから、大音量
で何度も同じ曲を聴かされる
とさすがに神経が参る。ある
ときには頭がががんとして店
から逃げ出した。

洗脳音楽と呼ぶ人もいるら
しい。つまりそれだけ音楽は
人間の心に入り込む。という
ことは、できるだけいい音楽
に触れる必要がある。

個人的にはお酒とほどよく
組み合わせる音楽をストレス
解消に利用させてもらって
いる。例えばこんな具合である。
夕食後、冬枯れの道を歩い
てお気に入りのバーに行く。
とりあえずホットウイスキー
で体を温め、さてなにを飲も
うか考える。店内ではジャズ
のスタンダードナンバーが適

度な音量で流れている。ジャ
ズに心を委ねながら、ほろ酔
い頭で「モンゴメリー将軍を」
と口走る。

モンゴメリー将軍は実在の
人物らしいが、ここで言うモ
ンゴメリー将軍はヘミングウェイ
の小説に出るマティーン二の
一種。ジンの割合が高いので、
早く酔っぱらうことができる。
グラスに落とすオリブには
ニンニクが突っ込まれてい
ないといけない。

飲んだくれ文豪のヘミング
ウェイを思いつつ、ぐびり。
ジンの香りが鼻孔をくすぐり、
やがて五臓六腑に酒が染み渡
る。目の前に並ぶ無数の酒瓶
を楽しく眺め、ニンニク入り
のオリブをかじる。ジャズ
の響きが心地よく脳を刺激す
る。音楽が脳を、酒瓶が目
を、酒が五臓と六腑をとろりと
だめてくれる。ストレスがすー
と消えていく。

いい音の大切さを考え始め
たのは10年ほど前だったよう

に思う。音によって心がいら
だちもするし静まりもする、
そんな当たり前のことに気づ
いたからだ。ここ数年はでき
るだけいい音に触れ合うこと
にしている。

小澤征爾を聴くことができ
ればそれに越したことはない
が、別に世界のオザワでなく
てもいい。自分がいいと思う
音楽を聴く。心を音楽に委ね
る。その幸せを感じることが
できれば、それでいい。

いや、もっといいのは自分
自身で音楽を奏でることだろ
う。自分自身も幸せになり、
聴く人も幸せにする。人と一
緒に奏でることで友情も生ま
れる。やがてそれが人生の財
産になる。

吹奏楽連盟の皆さんの演奏
を聴かせてもらうたび、実は
ほのかな羨望を感じている。
演奏前の張りつめた緊張感、
演奏中の真剣さ、素晴らしい
音、終わった後の達成感、聴
くより奏でる方がずっと楽し
いということが、会場の隅々
まで伝わってくる。

音楽は一生の友だと思
う。いい音楽を聴く人が増えれば、
世の中もちょっとはよくなる
かも。少なくとも、いい音楽
であふれた世の中は人も住み
やすいに違いない。

「広げよう 音と心のハ
ーモニー」(県立日立第二高等
学校 大高奈々さん作品)を
テーマに、本年、10月17日(日)
に、ひたちなか市総合運動公
園総合体育館を会場とし、「茨
城県吹奏楽連盟創立五十周年
記念式典」並びに「記念演奏
会」を開催いたします。

この事業は、単なる
周年事業ということでは
なく、記念すべき五
十年の節目に立ち会え
ることを加盟団体すべ
のの皆様と祝い、喜び
を分かち合おうとともに、
これからの更なる茨城
県吹奏楽連盟発展のた
めの、新たな第一歩
を踏み出す記念事業に
したいと考えております。

更に実行委員会では、
「加盟団体の皆様お一
人おひとりが、何らか
の形で参加していただ
ける事業にしよう!」
を大きなコンセプトとして取
り組んでおります。是非皆様
も「自分たちの事業」とら
えていただき、様々な面でご
参加、ご協力を賜りたく願
い申し上げます

さて、一言で「五十年」と
は申しませんが、ここに至るま
での長い歴史の流れの中で、

「広げよう 音と心のハーモニー」

茨城県吹奏楽連盟 創立五十周年記念事業開催

実行委員長 小塚 功

多くの方々の熱意と献身的な
ご尽力があつてこそ、今の茨
城県吹奏楽連盟の躍進と発展
があることを私たちは忘れて
はならないと思います。

今回の事業を一つの節目と
して、今までご尽力賜りまし
た多くの皆様方に、深く敬意
と感謝の意を表すとともに、
これからも皆様方にお力添
えをいただきながら、本連
盟の今後の更なる発展を祈
念したいと存じます。

最後に、記念式典と記念
演奏会を、次のように開催
いたします。是非多くの皆
様方のご参加を賜りたく、
お知らせ申し上げます。

《創立五十周年

記念式典・記念演奏会》

平成22年10月17日(日)

ひたちなか市総合運動公

園総合体育館にて

入場料 1500円

●記念演奏会出演予定団体

- 峰山中学校・泉丘中学校・
- 聖徳中学校高等学校・常総学
- 院高等学校・水海道小学校・
- 境第一中学校・鹿島中学校・
- 清真学園高等学校・笠原小学
- 校・水戸第四中学校・茨城中
- 学校高等学校・石川小学校・
- 大洗高等学校・大学合同バン
- ド・一般合同バンド

東関東特別指導者講習会

つくばみらい市立谷和原中学校

松永 幸子

私は国語科の教員で音楽が専門ではありません。何もわからないので、いつも周囲の支えに頼っていました。知合いの先生や一般団体の方に指導してもらいながら時には外部指導者もお呼びして、人まかせの指導ばかりでした。しかし、いろいろな方に指導していただいて子どもたちが上達してきて、私自身も何もできず、力を伸ばしてやる事ができませんでした。こんな未熟な指導者に、ひたすらついてくる生徒たち。一生懸命な子どもたちに、もつと何かしてやれたら...:~:という思いからバンドクリニクに参加しました。

講座では各楽器の指導法や指導法以外にも、部活の指導で大切なことや演奏会の盛り上げ方なども教えていただきました。毎日開催されるコンサートも、どれも素晴らしく本当に大満足。充実した中味の濃い3日間でした。それから、バンドクリニクのもう一つの良さは「出会い」だと思います。同じ志をもつ者同士、一緒に過ごす時間は格別

です。「明日からまた頑張ろう」という元気を多くの方からもらった気がしました。

東関東選抜吹奏楽大会

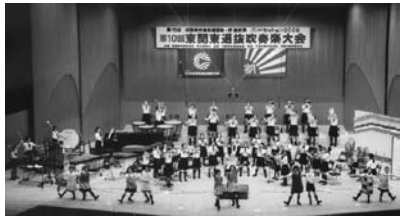
水戸市立三の丸小学校

原田 良子

ステキな音と喝采の中で「中学校や高校生と一緒にコンクールを楽しみませんか?」とお誘いを受け、「子どもたちの勉強になるなら。」と選抜吹奏楽大会への参加を決めました。

郷音き令い

3ヶ月で2曲を仕上げる事ができるだろうかと不安もありましたが、『ミュージカル』をテーマに、演奏だけでなく歌やダンスを入れて三の丸らしさを表現しました。



舞台袖では柏市立酒井根中学校の演奏からたくさん学ぶ、舞

台では練習の成果を笑顔にのせて演奏することができました。

何より嬉しかったのは、子どもたちへの会場の拍手がとても温かかったことです。

結果は「金賞」。インフルエンザ予防のために早く帰校した子どもたちが会場にいたら、どんなにか喜んだことでしょう。

お世話頂いた吹奏楽連盟の皆様、千葉県文化会館の皆様にご心より感謝申し上げます。

吹奏楽コンクール

日立市立日高中学校

三年 菅原 夏樹

初めてのA部門。久しぶりの県大会。そして、そこでの銀賞。私たちにとって、21年度は飛躍の一年でした。

私たちがA部門に挑戦するきっかけは、新メンバーでのステージデビューとなる一昨年度の市内音楽会にありました。

会場からの温かい拍手と、講評に書かれていた、「来年はA部門でしようか?」

という思いがけないコメント。それから何度も話し合いましたが、なかなか決心がつかせませんでした。その後、他の学校を見学させていただいたり、合同練習への参加から、

「失うものは何もない。やるなら精一杯やってみよう。」と、A部門にチャレンジすることを決心しました。

『心をひとつに心を込めて』をモットーに、私たちは練習と気持ちを積み重ねてきました。

初めてのA部門という舞台で、今までの中で一番の演奏ができたのではないかと思います。

これまで支えてくれた、家族や友人、いつも応援、励まして下さった先生方や地域の方々、そして、共に励まし合い頑張ってきた仲間。心から感謝しています。

神栖市立神栖第二中学校 三年 秋山 真子

21年度の県大会には、1年生のころからずっと支え合ってきた3年生全員で出場しました。

「今年こそは東関東大会出場」を目標に、暑い夏の中、部員一丸となって練習に励みました。しかし、県大会の壁

は厚く、目標とした東関東大会出場は叶いませんでした。結果発表が終わってから、私は悔しくて悔しくて思わず涙が出ました。しかしその後、顧問の先生方や部員で集まり、今日の演奏は、自分たちにとって今までで納得のいく演奏であったことを確認しました。その時、私の涙はうれし涙に変わっていました。

どんなに辛くて厳しい練習にも、誰一人欠けることなく取り組んできた私たちだからこそそう思えたのだと思います。

私は大会を通して、結果よりも如何に自分たちが納得のいく演奏ができたかの方が大切だと思いました。そして何より、これまで以上に音楽がもつともっと大好きになりました。

大成女子高等学校 船山 貴司

コンクールを振り返って 大成女子高で吹奏楽部の顧問を務め、6年になります。21年度は県大会で待望の金賞を受賞、県の代表となり念願の東関東大会への出場を果たすことができました。

これまでの5年間をふり返りますと、いつも銀賞という結果でした。しかし問題、だつ

たのは成績どうではなく、私自身も含め、生徒たちの表彰式後の、「反省や悔しさ」よりもあきらめにも似た感情があったことです。



当然のことながらコンクールのためにはどの学校の時間も多くの時間を費やし、厳しい練習を重ねています。やはり本校には、金

賞に手が届かない何か欠けていたと思わざるを得ませんでした。その欠けていたものが、「反省や悔しさ」をバネにして次に活かすという基本的なことだったのです。結果はどうあれ、前の経験を踏まえたうえで改善・修正を重ねて一つのことをやり遂げ、達成感や充実感を味わい、努力することの大切さ、音楽のすばらしさを再認識してくれましたと改めて思いました。意識の改革こそが何より金賞への道と気がついたので。42名という少ない人数の中で、心を一つに演奏し、東関東大会に出場したことを部員

共々誇りに思います。

総和高等学校

酒寄 康典

幸運にも、2年連続で東関東大会に出場させていただきました。

これまでの活動を振り返ってみると、当たり前のことですが「基本の積み重ね」と「生徒の自主性」を大切にできたように思います。呼吸、奏法など演奏における基本は勿論、挨拶、礼儀、身だしなみなど生活態度の基本にも気を配りながら活動してきました。また「部活の主役は生徒、顧問は脇役」のスタンスを貫きました。以前から、生徒の受身の姿勢が気になり、演奏にもそれが出ているように感じられたため、練習メニューをはじめ、今まで主に私が考えていたことを出来る限り生徒に任せ、自ら考え、自発的・積極的に行動できるようにしてみました。それらの積み重ねの成果は、少しずつ色々な場面で表れてきているのではないかと感じています。今後、現状に満足することなく、音楽的にも人間的にも向上できるように、感謝の気持ちを忘れず、真摯な態度で活動していきたいと思えます。

また、生徒にとつての名脇役となれるよう、更なる研鑽を積みたいたいと思えます。

東日本学校吹奏楽大会

笠間市立友部第二中学校

小林江津子

日本一幸せな引退

「帰りのバスは号泣」これがコンクール定番。どんなに頑張っても、まだできたのではないかとこの後悔の言葉しか生徒の口からは出てこない。この状況を変えようと、今回は、「満足のいく演奏」を目標にした。次の大会への推薦は完成度を高めるためのチャンスをもう一度もらったようなもの。生徒たちは「満足のいく曲」を仕上げるために、尊敬するほど緻密な練習をひたすら繰り返した。

北海道キタラは素晴らしいホールで、柔らかな響きを重視してきた本校にとつては最高の環境だった。演奏後、生徒たちは満面の笑顔。結果を待つまでもなく、満足のコンクールとなった。4回のコンクールと、その翌週に地域のお祭りでの演奏。涙で撮影する保護者、立ち上がった拍手を止めない地域の方、握手を求めのお年寄り：生徒たちは日本一幸せな引退の仕方だと

喜んだ。今回は新型インフルエンザ、台風直撃など困難の連続だったが、多くの方々に支えられ、東日本大会を無事に終えられた。本当に皆様に感謝の気持ちでいっぱいである。ありがとうございました。

国民文化祭

関城吹奏楽団

秋山 祐也

私たち関城吹奏楽団は、静岡県浜松市で行われた第24回国民文化祭に参加させていただきました。全国各地から



名だたる団体が参加される中、このような機会をいただいたことは、当然にとても大変光栄なことだ

だと感謝しております。会場のアクトシティ浜松は、音楽の街にふさわしい素晴らしいホールでした。今回は、「ダフニスとクロエ第二組曲」と「ベイ・ブリーズ」を演奏しました。二曲とも私たちにとつて思い出深い曲なので、

すばらしいステージで演奏できたことを大変うれしく思います。また、ステージごと回転し入退場するという初めての体験もでき、とても有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

今後、この貴重な経験を生かし、支えて下さる沢山の方々に感謝し、広く活動を展開できるように団員一同精進していきたいと思えます。

普及推進事業

日立市立豊浦中学校

三年 高倉 慈歩

皆様のおかげ

本校吹奏楽部は一昨年度のコンクールBの部で、惜しくも東関東大会へ進めず、「今年こそは！」という気持ちで練習を積み重ねてきました。21年度の自由曲はハチャトウリアン作曲「仮面舞踏会」。

音域が広く、和音も難しく、何より表現力が求められる曲です。私はクラリネットを担当し、ソロを演奏することに、その分毎日一人一倍練習をしました。顧問の先生からは「そんなんじゃないよ」の一言。感情が伝わらない！の一言。他の部員も同様にどう演奏すれば良いのか悩んでいました。そのような時に日立市民吹奏

楽団の方々が来て下さり、基礎から応用、ソロの吹き方で丁寧教えて下さりました。他のパートも驚くほど成長をし、全体練習では顧問の先生も自分たちも納得する演奏ができるようになりました。

県大会では銀賞という結果に終わりましたが、良い演奏ができたと思っています。

お忙しい中、教えに来て頂いた日立市民吹奏楽団の皆さん、本当にありがとうございました。

市長バンドフェスティバル

第14回吹奏楽大荒吹

実行委員長 生方 伸一

今回の第14回大荒吹は、国民文化祭の関係で、開催が一年空いてしまいとても不安でいっぱいでした。しかも、私が実行委員長となり、本当に演奏会ができるか心配しました。

しかし、県西地区の7団体の協力で、地区の会合を重ねていくうちに、少しずつ安心の度合いが高まりました。計画が遅れたのにも関わらず、県内の26の職場一般バンドの協力を得て、チーム分けや曲決めもスムーズに進みました。さすが今までの長年のつながりだと感じました。



当日は、テーマの『人』を前面に出して、喜怒哀楽にちなんだ曲を各チームが趣向を凝らして演奏をしました。最後の『大合同B型バンド』でのアンコールのヤングマンの指揮もうまく進み、次の県北地区にバトンが渡せ、大荒吹の責任を果たすことができました。

小学校バンドフェスティバル

水戸市立石川小学校

藤枝 馨子

11月28日、第28回全日本小学校バンドフェスティバルが開催されました。一昨年度は、三出制度により休場となったため、今回の大会には大きな目標をもって、練習に臨んでいました。

ところが、大会が近づくと、子供たちの目標が「全員で参加」というものに変わっていました。11月の初めからインフルエンザによる学級・学年閉鎖が相次ぎ、大会の一週間前は、朝を迎えるのが怖かったです。



しかし、そのような中で、子供たちは常にマスクの着用、アルコール消毒を欠かさず行い、大会当日は、一人として欠けることなく、全員で参加することができました。全国大会を夢見て、苦労を共にしてきた仲間全員で、ステージに立てたことは、何よりもうれしかったです。

精一杯の演奏演技を終えた子供たちの顔には、満足した笑顔があふれていました。

マーチングコンテスト

古河市立古河第二中学校

部長 北島 勇人

いつまでもともに歩む。僕たち古河二中吹奏楽部は、「いつまでもともに歩む」という演技スタイルで、東関東マーチングコンテストに出場するという貴重な機会を頂くことができました。

東関東吹奏楽連盟の強化指定校にしていたとき、講師の先生に教えていただいたり、大洗高校の皆さんに教えていただいたりしながら練習をしてきました。講習会にも参加しました。



練習で大変だったことは、みんな息を合わせてマーチングすることです。みんなの息が少しでもずれたら、演奏や演技が乱れてしまいます。僕たちはこのマーチングという良い経験を通してみんななどのアンサンブルを深めることができました。

これからこのメンバーで一年間を過ごしますが、たくさん課題はありますが、いつまでもともに歩みながら良い時間を過ごしていきたいと思っています。貴重な機会をありがとうございました。

アンサンブルコンテスト

つくば市立手代木中学校

二年 山口 実奈

手代木中学校初の東関東アンサンブルコンテスト出場。これは私たちにとって大きな出来事でした。このコンテストでの私たちの目標は「いつも通り落ち着いて演奏すること」。結果は銅賞で、悔しい思いもありますが、楽しく音楽を奏でることが出来たので良かったと思います。東関東に出られた喜び、そして悔しさを他の部員たちと共に分かち合い、これからの吹奏楽部の活動に活かしていきたいです。次は後輩たちが東関東のステージに立っていることを願っています。

私たちはこの経験を通して、演奏技術と共に心も大きく成長できたように思います。5人のメンバーと一緒に奏でた私たちの心のアンサンブルと応援して下さった方々の温かい心を深く胸に刻み、宝物として大切にしていきたいです。今まで指導して下さいました生方、応援して下さいました皆様、そして各会場でお世話して下さいました方々の支えがあり頑張ることが出来ました。心から感謝いたします。ありがとうございました。



大会の記録

吹奏楽コンクール

▼第49回茨城県吹奏楽コンクール
地区大会 平成21年

(県東) 7月26日

(県南) 7月25日～26日

(県西) 7月25日～26日

(県北) 7月25日～26日

(中央) 7月23日～25日

8月8日～11日

- 高萩、那珂湊、藤代南、中根台、瑞竜、守谷、日高、竹来、取手一
- 銅賞 石川、城西、土浦四、銚田南、神栖四、神栖三、波崎三、鹿島
- 《中学校Bの部》
- 朝日賞 友部二
- 金賞 友部二、岩間、東海、三和北、下妻、境一(以上代表)
- 等原、取手二、結城南、那珂一、古河一
- 銀賞 土浦二、牛堀、豊浦、水戸二、城ノ内、城南、牛久三、三和東、守谷・愛宕、稲田、御所ヶ丘、五霞、駒王、神栖二、常陸太田南、手代木、日の出、土浦三
- 銅賞 太田、平井、永山、下根
- 《高等学校Aの部》
- 朝日賞 常総学院
- 金賞 大成女子、聖徳、茨城、常総学院(以上代表)
- 水戸三、日立一
- 銀賞 佐和、水戸一、藤代、竹園、常磐大、佐竹
- 銅賞 東洋大牛久、太田一、江戸崎総合・藤代紫水・筑波、取手松陽、石岡一、土浦二
- 《高等学校Bの部》
- 朝日賞 清真学園

金賞 水戸女子、伊奈、清真学園、牛久栄進、総和、那珂(以上代表)
下館二

銀賞 水戸桜ノ牧、日立二、並木、古河三、水海道二、土浦一、水海道一、小瀬、竜ヶ崎一

銅賞 銚田一、日立北、江戸川学園取手、波崎

《大学Aの部》

朝日賞 茨城

金賞 筑波、茨城(以上代表)
流通経済

銀賞 常磐

《職場・一般Aの部》

朝日賞 関城吹

金賞 水戸交響吹、関城吹、古河シテイWO、水戸市民吹、日立市民吹、ひたちなか交響吹(以上代表)

ル・シエル音楽団

銀賞 水戸SE、常陸太田市民吹、土浦吹、あゆなまみあな吹、水戸一高

OB吹、阿見吹、ひたちなか市民吹、銅賞 常陸大宮吹、取手交響吹、しもだて吹、鹿島吹

▼第15回関東吹奏楽コンクール

高A 平成21年9月5日
よこすか芸術劇場
中A 平成21年9月6日
よこすか芸術劇場
高B 平成21年9月12日
宇都宮市文化会館

小学 平成21年9月13日
宇都宮市文化会館

中B 平成21年9月19日
結城市民文化センター

職場・一般、大学
平成21年9月20日
結城市民文化センター

《小学校の部》

コンクール部門

金賞 等原(東日本大会代表)
前渡、三の丸、五台、

銀賞 水海道、新荘、浜田

《中学校Aの部》

金賞 水戸四

銀賞 東海南、友部

銅賞 峰山、泉丘

《中学校Bの部》

金賞 境一、友部二(以上東日本大会代表)

代表

銀賞 下妻、東海、岩間、三和北

銅賞 水戸交響吹、水戸市民吹、ひたちなか交響吹、日立市民吹

▼第9回東日本学校吹奏楽大会
平成21年10月10日・11日
北海道・札幌コンサートホール Kitara

《中学校の部》

金賞 境一

銀賞 友部二

《小学校の部》

金賞 等原

▼第44回茨城県アンサンブルコンテスト
平成21年12月12日～13日
常陸大宮市文化センター
20日～21日
神栖市文化センター

《小学校の部》

朝日賞 等原A(金打八)

金賞 五台(打三)、新荘(FI四)、笠原A(金打八)、五台(金打八)、笠原B(金打八)(以上代表)

等原(金七)、三の丸(Sx四)、三の丸(CI四)、双葉台(金五)、白方丸(CI四)(ET五)

銀賞 堀原(打六)、双葉台(打五)、岩瀬(Sx四)、新荘(CI八)、佐野

(CI六) 岩瀬(CI四)、舟石川(管楽六)、白方(金打八)、酒門(金八)、双葉台(金八) 舟石川(金六)

《職場・一般の部》

銅賞 酒門(打四)、日の出(Sx三)、

日の出(CI五)、佐野(FI三)、白方

(金八)、五台(金八)、新荘(金打

八)、堀原(金八)、日の出(金七)、

岩瀬(金打六)

《中学校の部》

朝日賞 泉丘(CI四)

金賞 境一(打八)、茨城(Sx四)、手

代木(CI五)、泉丘(CI四)、東海南

(木五)、水戸四(金八)、勝田三

(Tp四)(以上代表)

総和(CI四)、東海(Sx四)、峰山(CI

八)、境一(木八)、水戸四A(木打

八)、那珂一(金八)、東海南(金六)、

友部二(Hn三)

銀賞 藤代南(打五)、柿岡(打三)、

手代木(Sx四)、総和(Sx四)、峰山

(Sx四)、城南(Sx四)、愛宕(Sx四)、

取手一(Sx四)、水海道西(CI八)、

取手二(CI四)、田彦(CI四)、愛宕

(CI四)、総和(FI三)、泉丘(FI三)、

茨城(FI三)、下妻(木八)、水戸四

B(木八)、勝田一(木五)、藤代南

(金八)、境一(金八)、泉丘(金八)、

峰山(金八)、竹来(Tb四)

銅賞 鉢田南(打四)、日の出(打三)、

中根台(FI四)、大久保(FI四)、愛

宕(FI三)、藤代南(木八)、波崎三

(木五)、平井(管打八)、波崎二(管

楽六)、鉢田北(管楽四)、鹿島(金

八)、日の出(金五)

《高等学校の部》

朝日賞 常総学院(CI八)

金賞 茨城(打六)、常総学院(CI八)、

聖徳(CI七)、常総学院(木六)、聖

徳(金八)、水戸三(金八)、常総学

院(金八)(以上代表)

聖徳(木五)、水戸三(CI八)、清真

学園(CI四)、緑岡(CI四)

銀賞 境打五、下妻二(打五)、藤代(打

三)、竹園(Sx六)、総和(Sx三)、

竹園(CI八)、太田一(CI七)、水戸

一(CI六)、境(CI四)、日立二(CI

四)、牛久菜進(FI四)、石岡一(FI三)、

水海道一(FI三)、水戸一(木八)、水

戸三(木五)、佐竹(金八)、清真学

園(金五)、水戸女子(Tb三)、八千

代(ET四)

銅賞 鉢田一(Sx四)、麻生(Sx三)、

佐竹(CI六)、日立北(CI四)、下館

二(FI三)、波崎柳川(金五)

《大学の部》

朝日賞 茨城(打三)

金賞 茨城(打三)、茨城(金六)(以

上代表)

筑波(金八)

銀賞 筑波(CI七)、常磐(木六)、常

磐(金六)、流通経済(金五)

《職場・一般の部》

朝日賞 水戸クラリネット合奏団(CI四)

金賞 古河シティW.O.(Sx四)、日立市

民吹(CI四)、水戸クラリネット合奏

ス八)、茨城バルナツソスW.O.(木四、

水戸市民吹(金八)(以上代表)

古河シティW.O.(金五)、常陸太田市

民吹(Sx四)、K.I.S.S.(FI四)、白

亜W.O.(Ob三)

銀賞 藤代高OB吹(打八)、常陸太

田市民吹(打八)、聖徳W.E.(打四)、

水戸一高OB吹(打四)、聖徳W.E

(Sx四)、ソリテW.O.(Sx四)、ル・

シエル音楽団(CI八)、大成W.E「嘩

(CI五)、水戸交響吹(FI四)、あゆ

なまみあな吹(FI三)、水戸市民吹

A(木三)、水戸市民吹B(木三)、

野良猫合奏団(金八)、ひたちなか

交響吹(金打八)、ル・シエル音楽

団(金八)、野良猫合奏団(金六)、

聖徳W.E(ET四)

銅賞 水戸交響吹(打四)、水戸ユウ

スW.O.(CI四)、阿見吹(CI四)、あ

ゆなまみあな吹(金八)、水戸交響

吹(金打八)、アステラス製菓(金五)

《第16回東関東アンサンブルコンテスト

平成22年1月23日〜24日

君津市民文化ホール

《小学校の部》

金賞 笠原B(金打八)、五台(金打八)

銀賞 新荘(FI四)、笠原A(金打八)

銅賞 五台(打三)

《中学校の部》

金賞 東海南(木五)(代表)

泉丘(CI四) 勝田三(Tp四)、水戸

四(金八)

銀賞 境一(打八)

銅賞 茨城(Sx四)、手代木(CI五)

《高等学校の部》

金賞 常総学院(CI八)、常総学院(木

八)

銀賞 茨城(打六)、聖徳(CI七)、常

総学院(金八)、聖徳(金八)、水戸三

(金八)

《大学の部》

銀賞 茨城(金六)(代表)

茨城(打三)

《職場・一般の部》

金賞 水戸クラリネット合奏団(CI四)、

水戸市民吹(金八)

銀賞 古河シティW.O.(Sx四)、古河

シティW.O.(CI弦バス八) 日立市民

吹(CI四)、茨城バルナツソスW.O.(木

四)

《第33回全日本アンサンブルコンテスト

平成22年3月20日(土)

西関東：新潟市民芸術文化会館

《中学校の部》

金賞 東海南(木五)

《大学の部》

金賞 茨城(金六)

《マーチングフェスティバル

《第46回茨城県マーチングフェスティバル

平成21年8月23日(日)

ひたちなか市総合運動公園総合体育館

《小学校バンドフェスティバルの部》

金賞 石川、水海道

銀賞 吾妻(以上代表)

《マーチングコンテストA部門》

中学校の部

金賞 勝田二

銀賞 古河二、三和東(以上代表)

《マーチングコンテストB部門》

金賞 大洗

《マーチングコンテストB部門》

金賞 岩瀬西(代表)

《第15回東関東マーチングコンテスト・第

8回東関東小学校バンドフェスティバル

平成21年10月4日(日)

ひたちなか市総合運動公園総合体育館

《マーチングコンテストA部門》

銅賞 古河二、三和東、勝田二

《マーチングコンテストB部門》

銀賞 岩瀬西

《小学校バンドフェスティバルの部》

金賞 石川、水海道(以上代表)

銅賞 吾妻

《第27回全日本小学校バンドフェスティバル

平成21年11月28日(土)

大阪城ホール

金賞 水海道

銀賞 石川

《全国大会三年連続出場表彰 友部

県吹連後援 演奏会の記録 (加盟団体のみ)

- 4月 常磐大学高等学校第19回スプリングコンサート
5月 筑波研究学園都市吹奏楽団「午後の演奏会12」
6月 常陸太田市立山田中学校第3回定期演奏会
7月 県立下館第二高等学校第24回定期演奏会
8月 常陸大学附属牛久高等学校第44回定期演奏会
9月 古河吹奏楽団第40回定期演奏会
10月 筑波研究学園都市吹奏楽団創立25周年記念第23回定期演奏会
11月 筑波大学吹奏楽団第62回定期演奏会
12月 県立水戸第三高等学校ウインターコンサート
平成22年1月 茨城工業高等専門学校 New Year Concert 2010
2月 鹿島吹奏楽団第21回定期演奏会
3月 筑波研究学園都市吹奏楽団「午後の演奏会13」
水戸市立新荘小学校管楽合奏部演奏会
常総学院高等学校吹奏楽部第26回定期演奏会
筑西市立明野中学校第20回定期演奏会
県立境高等学校第12回定期演奏会
県立水海道第一高等学校第17回定期演奏会
県立佐竹高等学校第10回定期演奏会
野良猫合奏団春のコンサート
茨城大学吹奏楽団第51回定期演奏会
古河市立古河第一中学校第11回定期演奏会
県立那珂高等学校第16回演奏会
古河市立古河第二中学校第12回定期演奏会
坂東市立若井中学校第18回定期演奏会
ひたちなか市立前渡小学校ありごとコンサート
水戸市立笠原小学校第18回定期演奏会
県立竹園高等学校第25回定期演奏会
下妻市立下妻中学校第4回定期演奏会
県立水戸第一高等学校第34回定期演奏会
県立緑岡高等学校第4回定期演奏会
結城市立結城中学校第8回定期演奏会
聖徳大学附属聖徳中学校・高等学校第21回定期演奏会
水戸交響吹奏楽団第13回定期演奏会
県立下館第一高等学校定期演奏会
常総市立水海道小学校ありごとコンサート
境町立境第一中学校第16回定期演奏会
県立若井高等学校第4回定期演奏会
土浦市立土浦第四中学校演奏会
結城市立結城南中学校第17回スプリングコンサート
常総市立鬼怒中学校第3回定期演奏会
古河市立総和中学校第14回定期演奏会
古河市立三和中学校第8回定期演奏会
総和市立水海道中学校第4回定期演奏会
八千代町立東中学校定期演奏会

事務局この一年

役員改選に伴い、赤津豊前事務局長の後任に私、鎌田が就任いたしました。また新たな仲間を迎え、計12名で運営に携わって参りました。無事一年を終えることができました。も、皆様のおかげと感謝しております。

ご尽力に感謝しております。新年度はいよいよ茨吹連創立五十周年の年を迎えます。今後とも慢心することなく、運営にあたっていきなさいと事務局員一同考えておりますので、よろしく願います。
事務局長 鎌田 智之(太田一高)
次長 酒井 一郎(佐和高)
" 武藤 隆行(大久保中)
" 大沼 守正(日立一高)
" 尾花 淳勝(田一中)
" 曾根 博美(鉾田南中)
" 長峯寺 透(結城中)
" 木村 公一(水海道小)
" 菅田 真文明(秀学園日立高)
" 曾我 俊生(藤代高OB吹)
" 黒澤 典子(水戸市民吹)
" 中村由香利(聖徳WE)

編集後記

今回もお忙しいところ、依光隆明様より玉稿をいただき、ありがとうございます。今年、茨城県吹奏楽連盟が創立五十周年を迎え、記念式典が平成22年10月17日(日)に開催される。6ページに事業概要が掲載されているので、理解を深めていたきたい。また、連盟の果たすべき役割や活動等についても、一層の理解を深める意義深い年に行いたいものである。

学校では、顧問の異動によって心の動揺を起ささない強い子どもたちになるよう、常日頃から指導されていることであると。何事も見通しをもって手を打っておくことが大切である。
黒澤理事長のリーダーシップのもと、順調に各事業が経過した一年である。五十周年を機会に、吹奏楽の普及・発展、文化の向上、青少年の健全育成等に向け、見通しをもって、各事業を展開して行くことを改めて確認したい。

名義後援申請の方法

名義後援申請書(連盟ホームページ集よりダウンロードできます)を連盟事務局宛へ提出してください。後日、承認書を発行します。